

令和2年度(2020年度)用

小学校社会科用

「新しい社会」 知識の構造図 【5年】

令和2年(2020年)2月14日版

東京書籍

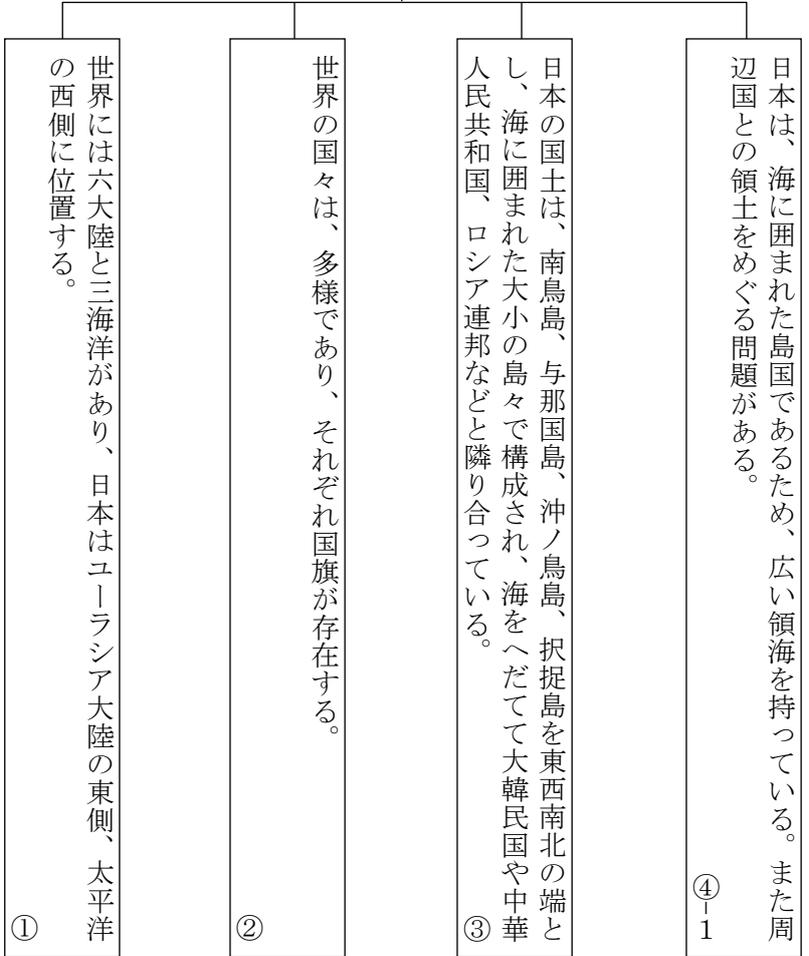
□ 知識の構造図 世界の中の国土

中心概念
(概念的知識)

日本は、北半球およびユーラシア大陸の東に位置し、大韓民国、中華人民共和国、ロシア連邦などと隣り合っており、海に囲まれた大小の島々から構成され、広い領海をもつ島国である。 ④-2

まとめる

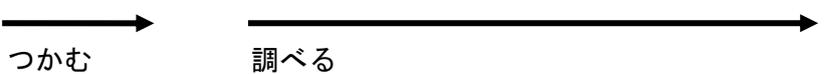
社会的事象
(具体的知識)



用語・語句

- ①
 - ・ 六つの大陸と三つの海洋
 - ・ 緯度と経度
 - ・ 赤道
- ②
 - ・ 世界の主な国々
 - ・ 国旗
- ③
 - ・ 国土の広がり
 - ・ 周辺の国々
 - ・ 主な島
 - ・ 海岸線
- ④-1
 - ・ 領土
 - ・ 領海

問題解決的な
学習の過程



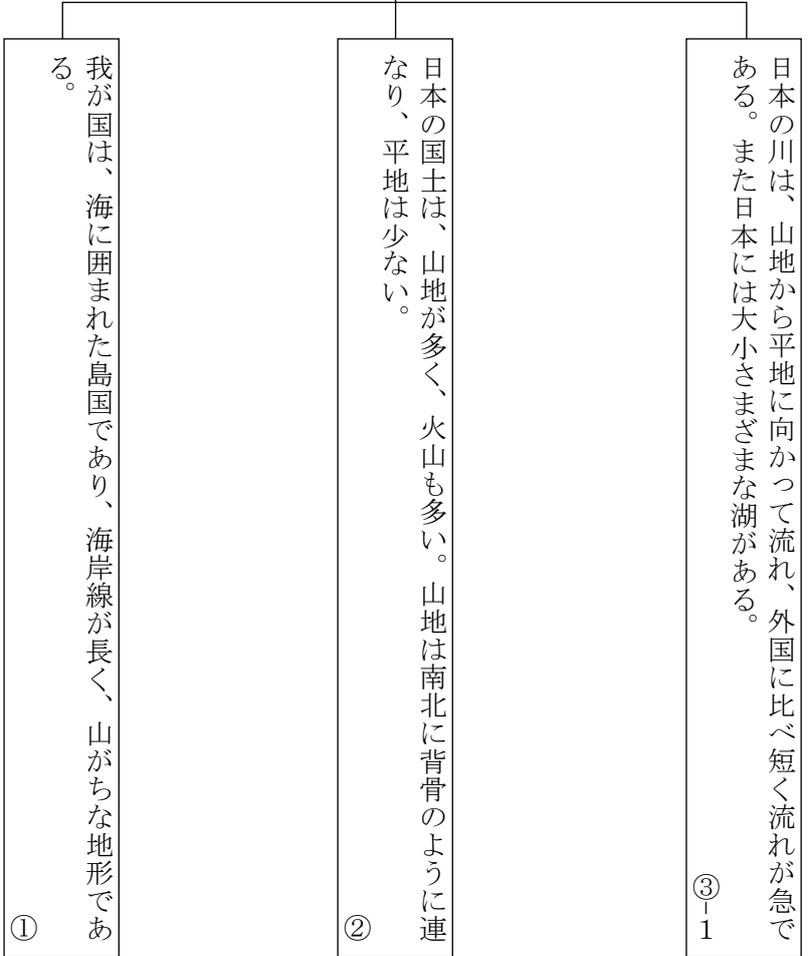
□ 知識の構造図 国土の地形の特色

中心概念
(概念的知識)

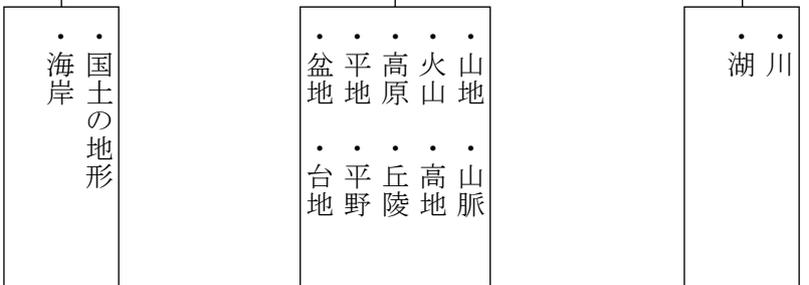
日本の国土は、平地が少なく、山地が多く、火山が多い。川は山地から平地に向かって流れ、短く急である。
③-2

まとめる

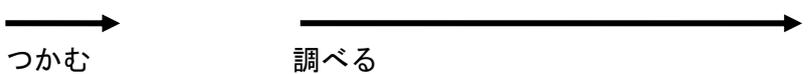
社会的事象
(具体的知識)



用語・語句



問題解決的な
学習の過程



□ 知識の構造図 低い土地の暮らし

中心概念
(概念的知識)

海津市の人々は、明治時代の川の大改修を経て、水害を克服してきた。低地の地形を生かした農業や、季節ごとの楽しみを生かした観光などを通して、低地の自然環境を生かしたくらしをしている。 ⑤-2

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

① 岐阜県海津市は、三つの大きな川の下流に広がる平らな土地で、多くが堤防で囲まれ、土地の高さがゼロメートル以下のところもある。

③ 海津市には、もともと川が入り組んで輪中が多くあったが、明治時代に、ヨハネス・デレーケが川の流れを完全に分け、水害の発生件数は大幅に減った。今でも水害に備えて地域の人は協力して水防演習を行い、水害に備えている。

④ 輪中では昔から農業を行っていたが、道路や揚排水機場、パイプラインなどの整備により、豊かな水を生かした大規模な農業を可能にした。

⑤-1 海津市の人々は、低い土地ならではの川や水を生かした楽しみがあり、市民のレクリエーションや観光などに広い土地や豊かな水を生かしている。

用語・語句

・ 輪中
・ 堤防
・ 水害

・ 治水
・ 排水機場
・ 水防演習
・ 水害
・ 水屋

・ うめ立て
・ 揚排水機場
・ 排水機場
・ パイプライン

・ 河川じき

問題解決的な
学習の過程

→
つかむ

→
調べる

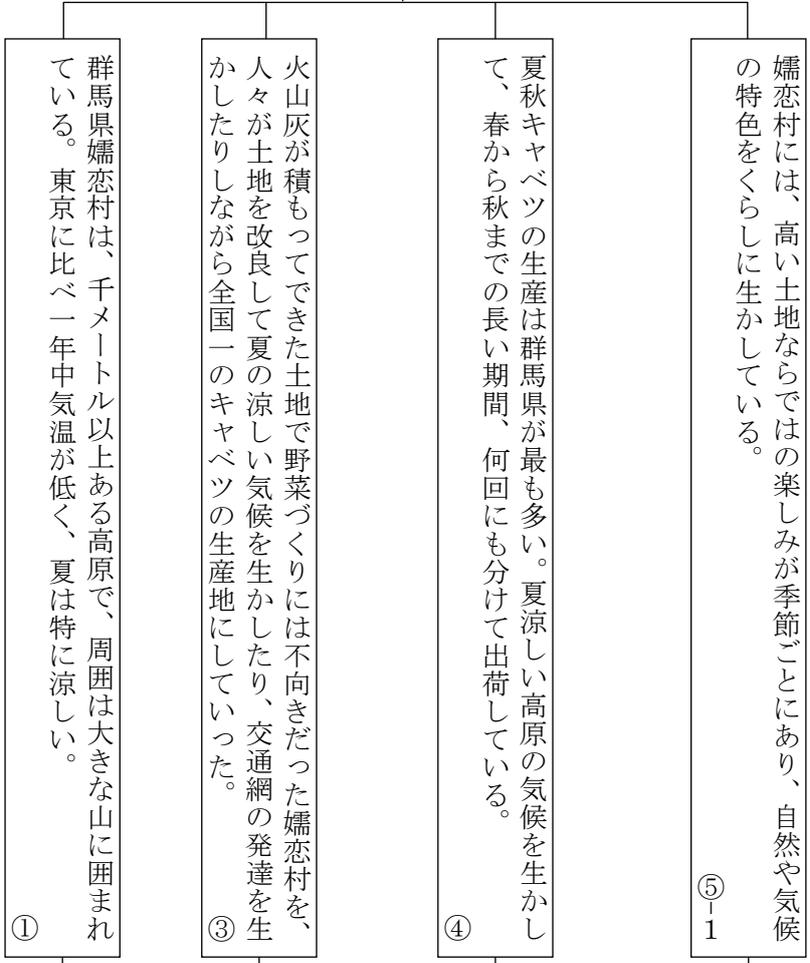
□ 知識の構造図 高い土地の暮らし

中心概念
(概念的知識)

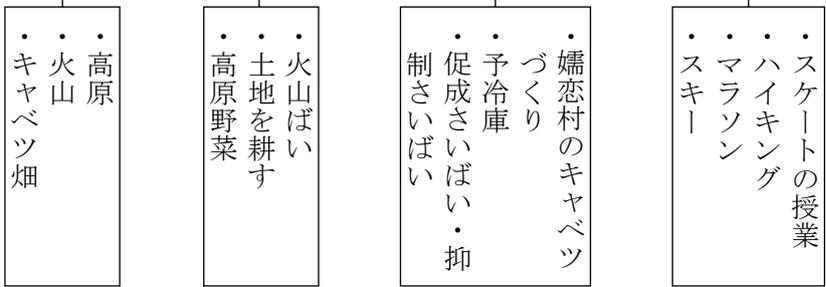
嬭恋村の人々は、高い土地に適応して生活しており、高原野菜の生産や、季節ごとの気候を生かした観光産業を行うことを通して、高原の自然環境を生かした暮らしをしている。 ⑤-2

まとめる

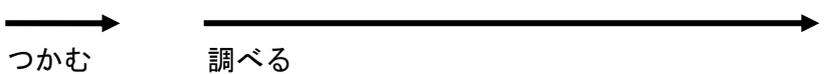
社会的事象
(具体的知識)



用語・語句



問題解決的な
学習の過程



□ 知識の構造図 国土の気候の特色

中心概念
(概念的知識)

日本の気候には、四季の変化が見られ、南北の位置、地形や季節風などによる地域差が大きい。また、つゆや台風等が、人々の暮らしに大きく関係している。
③-2

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

① 日本では四季の変化が見られ、日本列島が南北に細長く山がちなため、暖かい地域や寒い地域がある。四季の変化が見られることは、日本の気候の大きな特色である。

② つゆや台風、季節風は、日本の気候を特色づけている現象であり、人々の暮らしにも大きく関係している。

③-1 日本各地の気候の特色は、年間の気温と降水量などで区分される。また、南北の位置や地形、土地の高さなどによって、雨の多い地域、雨の少ない地域、雪の多い地域のように気候は異なっている。

用語・語句

- ・ 気候
- ・ 四季の変化

- ・ 季節風
- ・ つゆ
- ・ 雪
- ・ 台風
- ・ 降水量

- ・ 気候 (分布)
- ・ 気温 (分布)
- ・ 地形

問題解決的な
学習の過程

→
つかむ

→
調べる

□ 知識の構造図 あたたかい土地のくらし

中心概念
(概念的知識)

沖縄県では、夏の暑さや台風からくらしを守る工夫をする^①とともに、あたたかい気候や美しい自然を生かした観光産業がさかんで、気候を生かした特産物がある^②など、自然条件を生かしたくらしをしている。^{④-2}

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

① 沖縄県は、夏は暑い日が長く続き、台風が多く、一年を通してあたたかい気候である。人々は夏の暑さや台風^①に備え、家のつくりなどを工夫してくらしを守っている。

② 沖縄県では、一年を通して気温や湿度が高い気候に合ったさとうきびを栽培している。また、パイナップルなど沖縄県の気候に合う特産物も栽培している。^②

③ 沖縄県は、一年を通してあたたかい気候や、美しい自然を生かした観光産業がさかんで、多くの観光客がおとずれている。^③

④-1 沖縄県の人々は、歴史ある豊かな文化と自然を大切にし、自分たちの文化を守り、次の世代に引き継ぐ努力をしている。^{④-1}

用語・語句

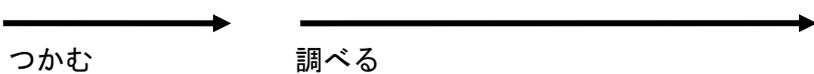
- ・ 沖縄県(那覇)の気温と降水量
- ・ 3月の海開き
- ・ 伝統的な家
- ・ コンクリートづくりの家

- ・ さとうきび
- ・ 「沖縄の宝」パイナップル

- ・ 気候と自然を生かす観光産業
- ・ さんごしょう
- ・ プロ野球のキャンプ

- ・ 文化(琉球文化)

問題解決的な
学習の過程



つかむ

調べる

□ 知識の構造図 寒い土地の暮らし

中心概念
(概念的知識)

北海道の人々は、冬の寒さや雪から暮らしを守る工夫をする
とともに、夏の涼しさや雪を生かした観光や広大な土地を使
った農業などがさかんで、北海道の自然条件を生かしたく
らしをしている。 ④-2

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

① 北海道は、冬は雪が多く寒い日が長く続き、夏は涼しい気候であり、自然が多く残されている。人々は冬の厳しい寒さに備え、家のつくりなどを工夫してくらしている。

② 雪の多い札幌市では、除雪を行うなど雪を克服したり、雪を生かして観光を営んだりしている。

③ 十勝地方では、広大な土地や夏でも涼しい気候を生かして農業を行っている。

④-1 北海道には、昔から先住民族のアイヌの人々がいて、独自の文化をつくってきた。

用語・語句

- ・札幌市の気温と降水量
- ・スキー学習
- ・三角屋根の家と無落雪の家
- ・断熱材

- ・雪対策
- ・雪たい積場
- ・ゆう雪施設
- ・雪まつり
- ・除雪

- ・十勝平野
- ・輪作
- ・大型の機械

- ・アイヌ文化
- ・先住民族

問題解決的な
学習の過程

→
つかむ

→
調べる

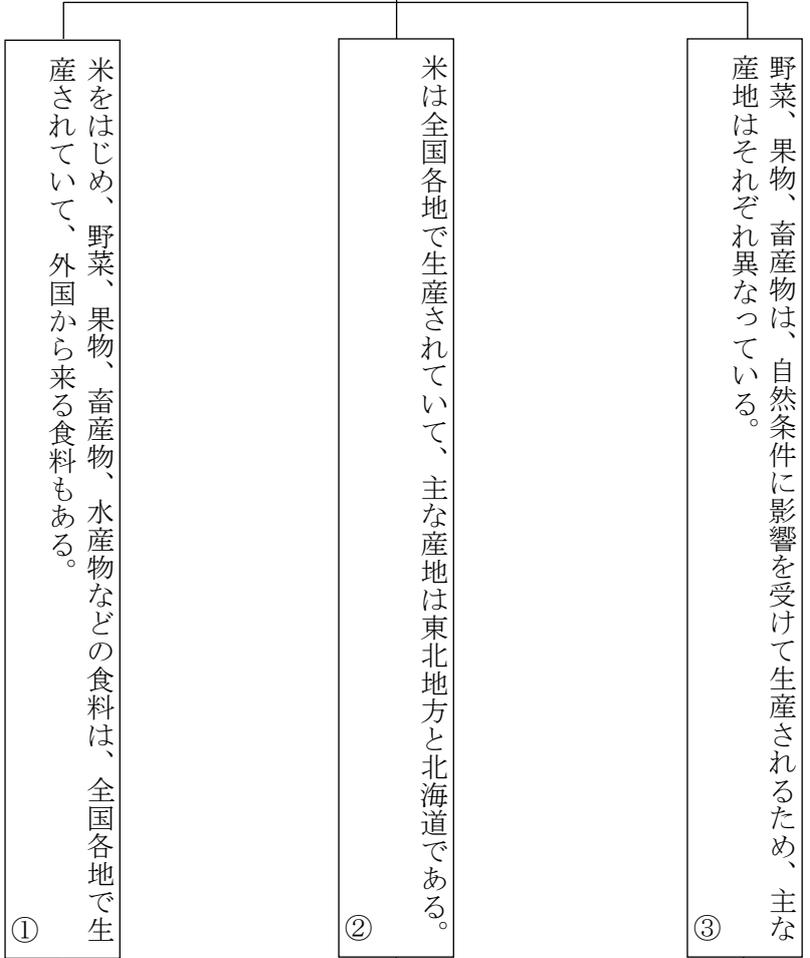
□ 知識の構造図 暮らしを支える食料生産

中心概念
(概念的知識)

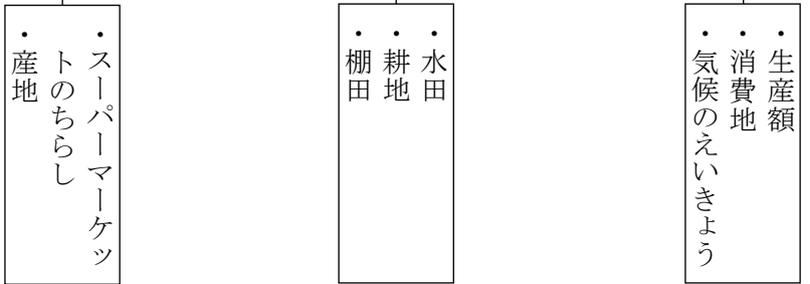
我が国の食料生産は、自然条件と深いかかわりをもって営まれ、全国には米をはじめ、野菜、果物、畜産物、水産物などのさかんな地域が分布している。 ④

まとめる

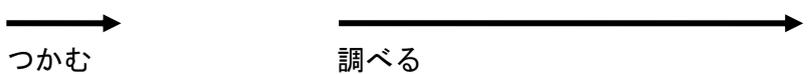
社会的事象
(具体的知識)



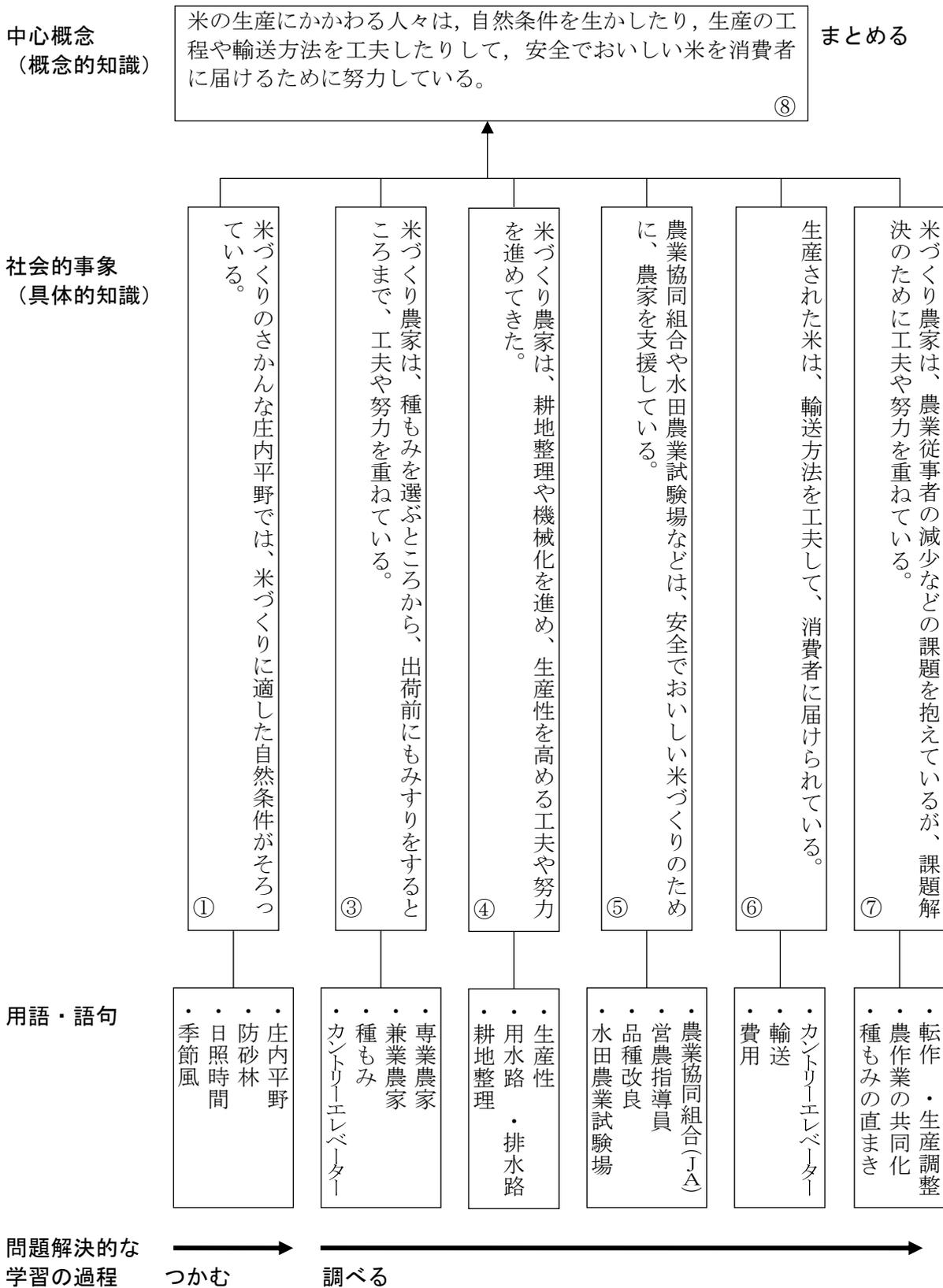
用語・語句



問題解決的な
学習の過程



□ 知識の構造図 米づくりのさかんな地域



□ 知識の構造図 水産業のさかんな地域

中心概念
(概念的知識)

我が国の水産業は、自然条件を生かして営まれており、水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えている。⑦

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

① 日本は世界有数の魚介類の消費国であり、魚介類は重要な食料である。日本のまわりには寒流・暖流が流れていてよい漁場があり、全国に多くの漁港がある。

② 長崎県では、沖合漁業がさかんである。沖合漁業では魚群探知機で魚の群れを探し、船団を組んだまき網漁が工夫して行われている。

③ 長崎漁港で水あげされた魚は、魚市場でせりかけられ、全国へ運ばれる。魚が消費者に届くまでには、様々な人々に関わり価格が変動する。

④ 長崎市では、とらふぐの養殖がさかんで、様々な工夫がされている。水産センターでは、魚や貝の卵を育てたり、さいばい漁業を行ったりして水産資源を守っている。

⑤ 長崎漁港のそばには、すり身をつくる工場やかまぼこ工場などがあり、漁港でとれた魚を加工して消費者のもとへ届けている。

⑥ 日本では、200海里水域の影響もあり、遠洋漁業や沖合漁業の生産量は減っている。漁業で働く人の数も減っていて、水産業の課題を改善していく必要がある。

用語・語句

- ・水産業
- ・暖流と寒流
- ・漁場
- ・漁港
- ・大陸だな

- ・沖合漁業
- ・魚群探知機
- ・まきあみ漁
- ・水あげ

- ・長崎漁港
- ・魚市場
- ・せり
- ・トラック輸送

- ・養しよく
- ・赤潮
- ・さいばい漁業

- ・すり身
- ・かまぼこ
- ・水産加工

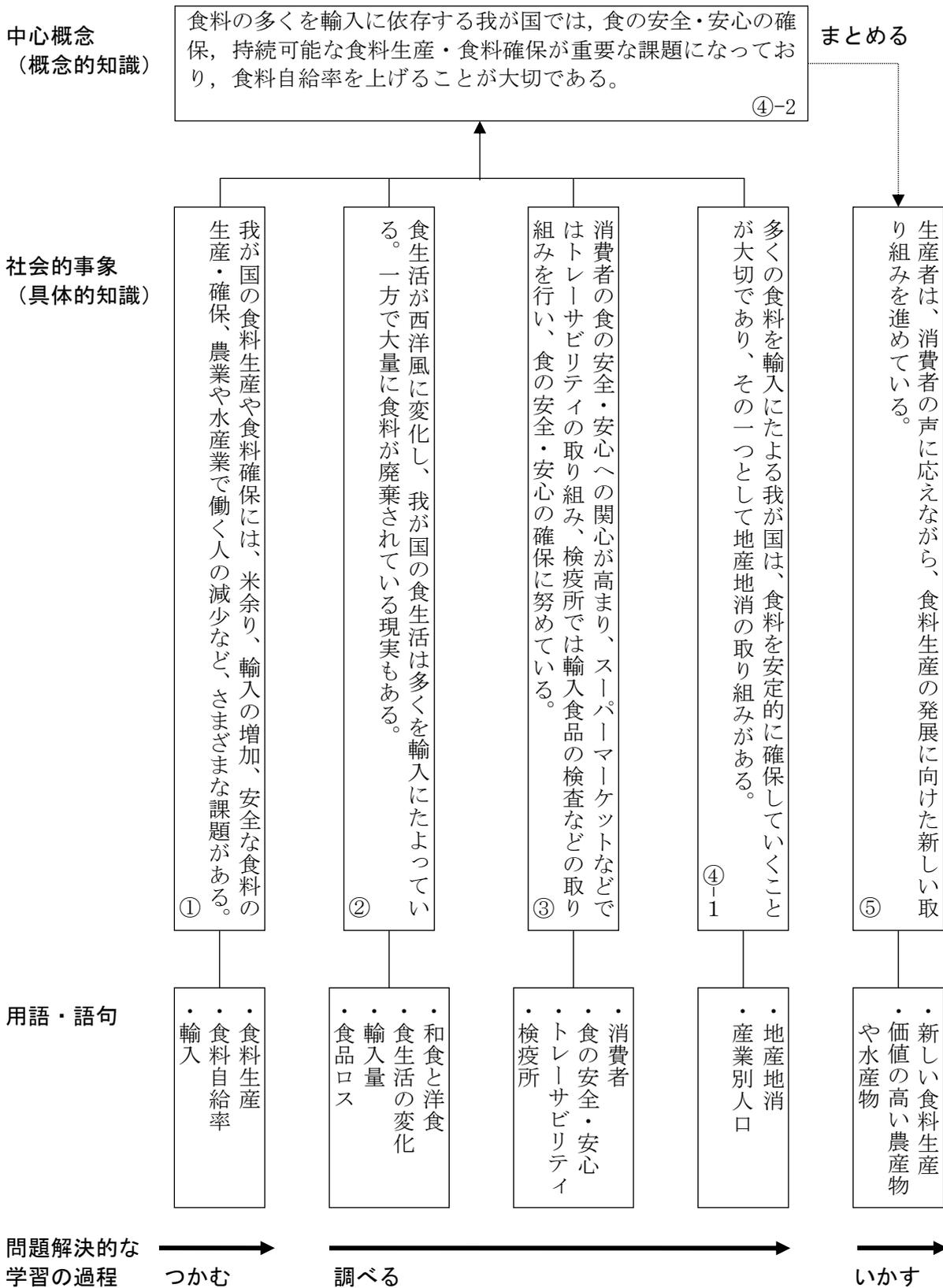
- ・200海里水域
- ・漁獲量
- ・遠洋漁業
- ・沿岸漁業
- ・漁業で働く人数の変化

問題解決的な
学習の過程

→
つかむ

→
調べる

□ 知識の構造図 これからの食料生産とわたしたち



□ 知識の構造図 くらしを支える工業生産

中心概念
(概念的知識)

日本は工業のさかんな国であり、さまざまな種類の工業が営まれている。また、日本では、太平洋ベルトをはじめ、全国各地に工業地域が分布している。 ③-2

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

①-1
工業は、機械、金属、化学、食料品などに分類することができ、さまざまな工業製品がわたしたち国民の生活を支えている。

①-2
日本では、各地でさまざまな工業がさかんに営まれている。

②
日本では、全国各地に工場が分布している。多くの工場が集まり、工業生産がさかんな地域は、工業地域や工業地帯とよばれている。

③-1
日本の工業のさかんな地域は、太平洋ベルトを中心に海沿いに多く分布している一方で、内陸部にも分布している。

用語・語句

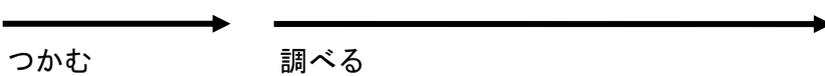
- ・機械工業
- ・金属工業
- ・化学工業
- ・食料品工業
- ・せんい工業
- ・その他の工業

- ・さまざまな工業製品
- ・工場

- ・大工場と中小工場
- ・工業生産額
- ・工業地域・工業地帯

- ・工業のさかんな地域
- ・太平洋ベルト

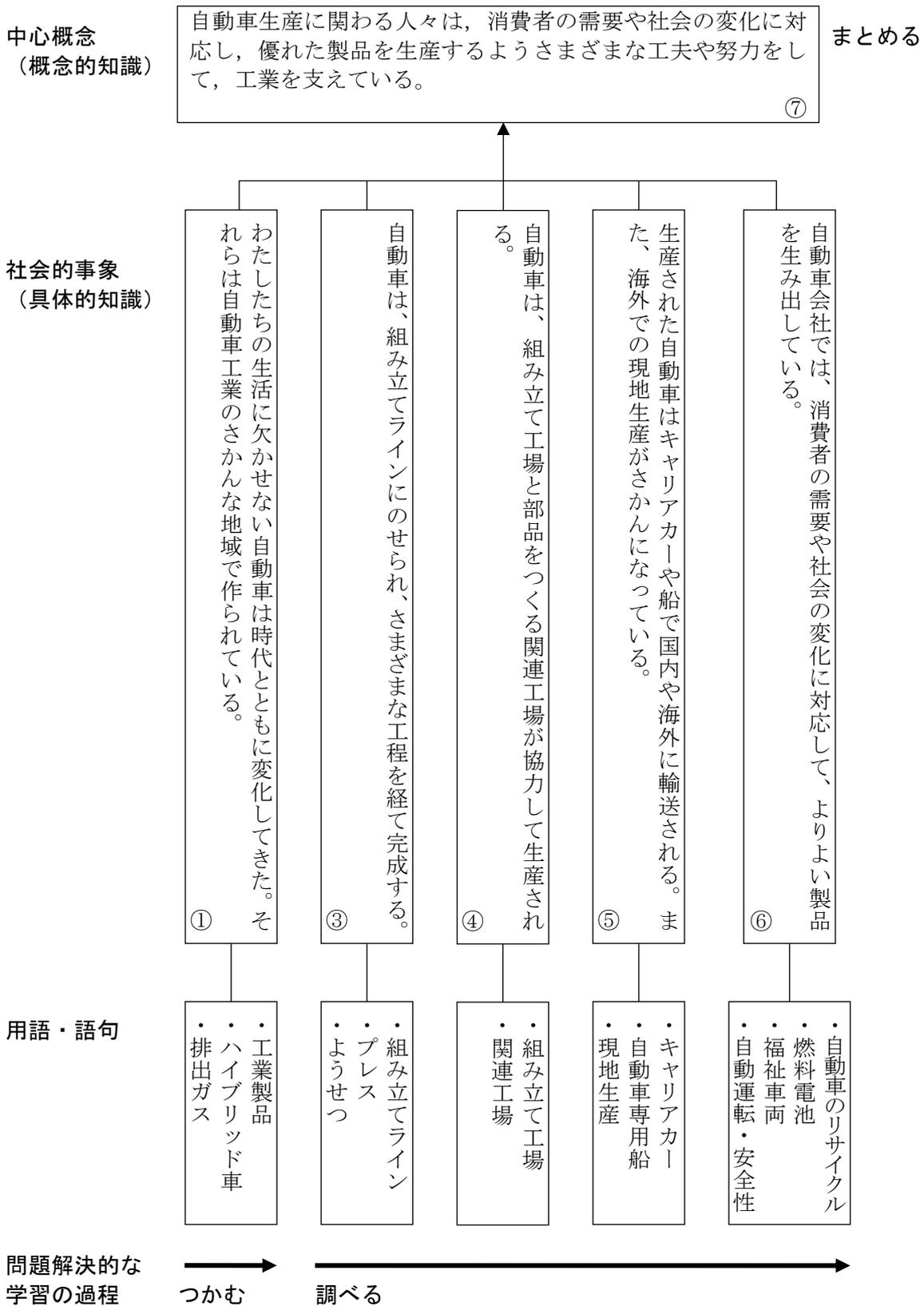
問題解決的な
学習の過程



つかむ

調べる

□ 知識の構造図 自動車をつくる工業



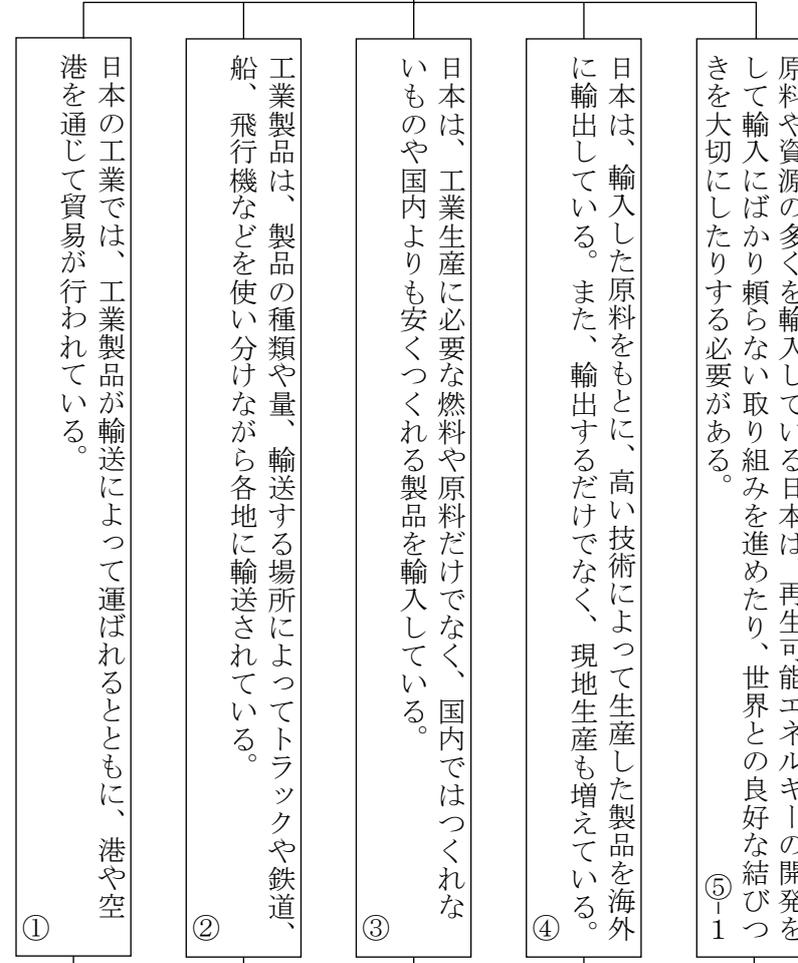
□ 知識の構造図 工業生産を支える輸送と貿易

中心概念
(概念的知識)

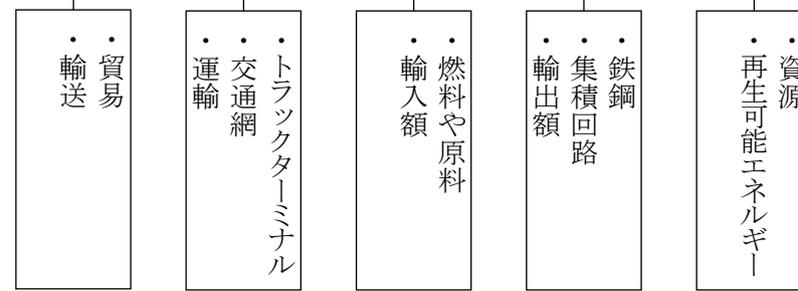
運輸や貿易は、日本の工業生産に必要な原材料を確保したり工業製品を各地に届けたりするなど、工業生産にとって重要な役割を果たしている。
⑤-2

まとめる

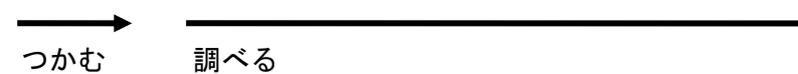
社会的事象
(具体的知識)



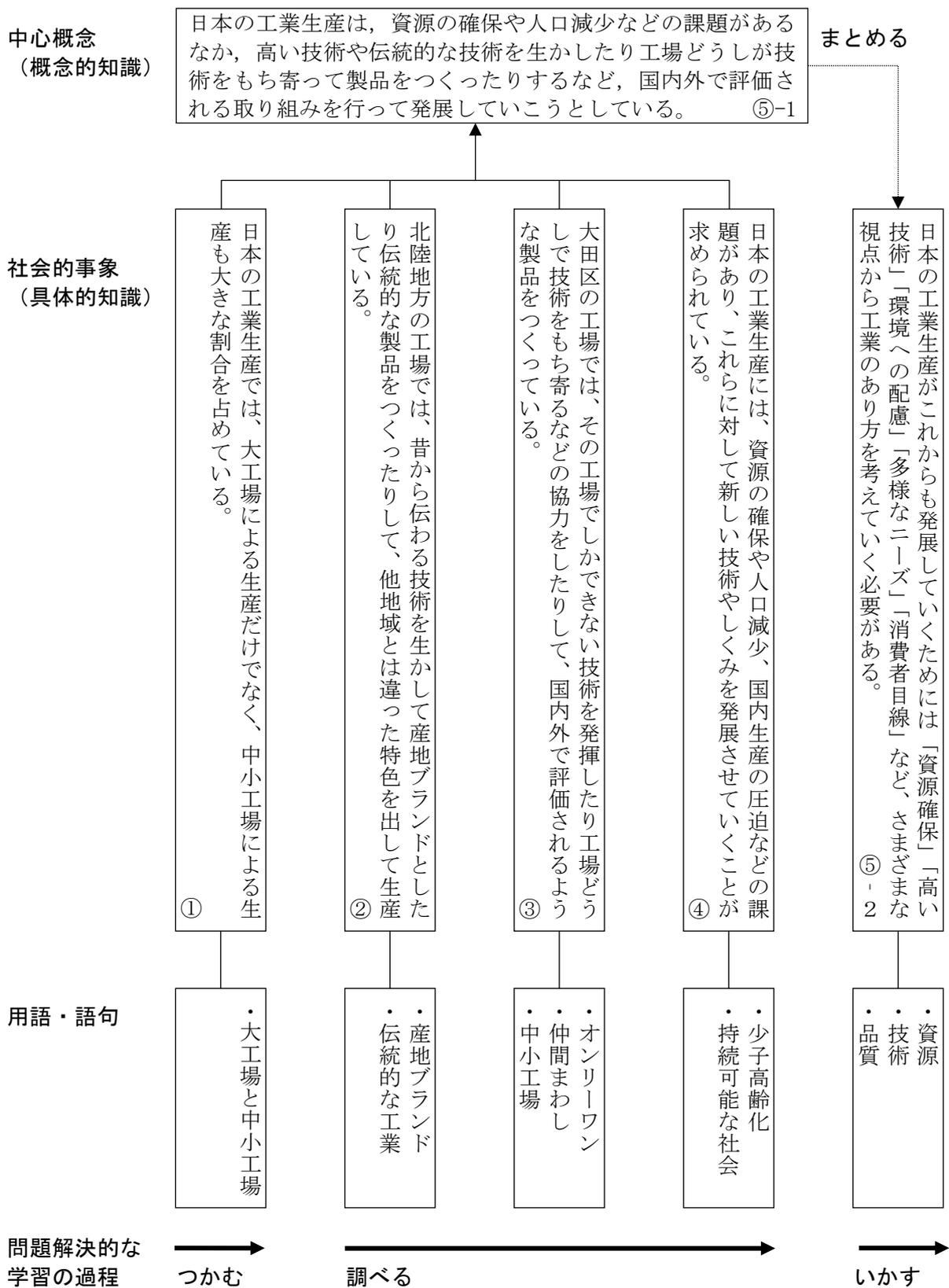
用語・語句



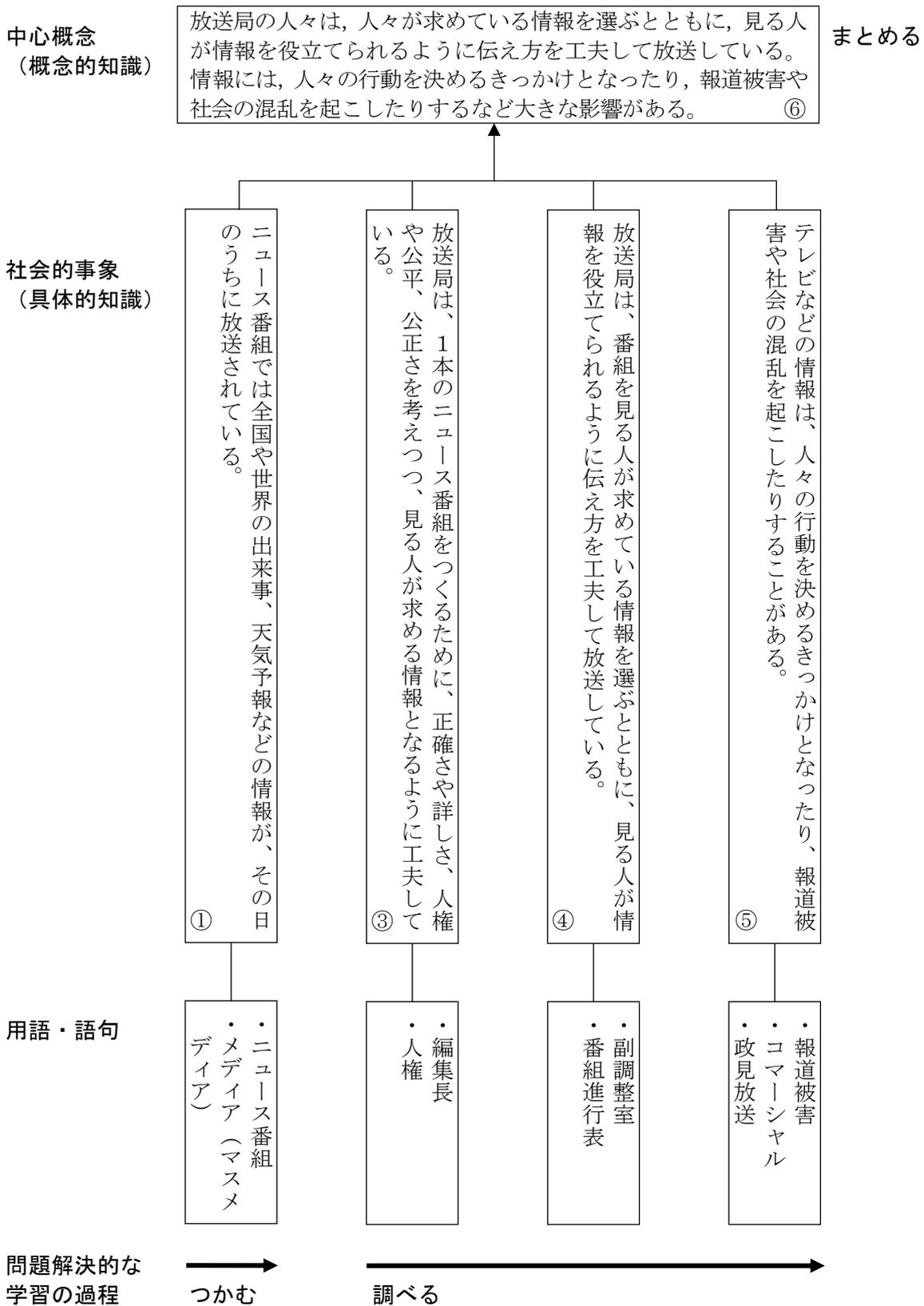
問題解決的な
学習の過程



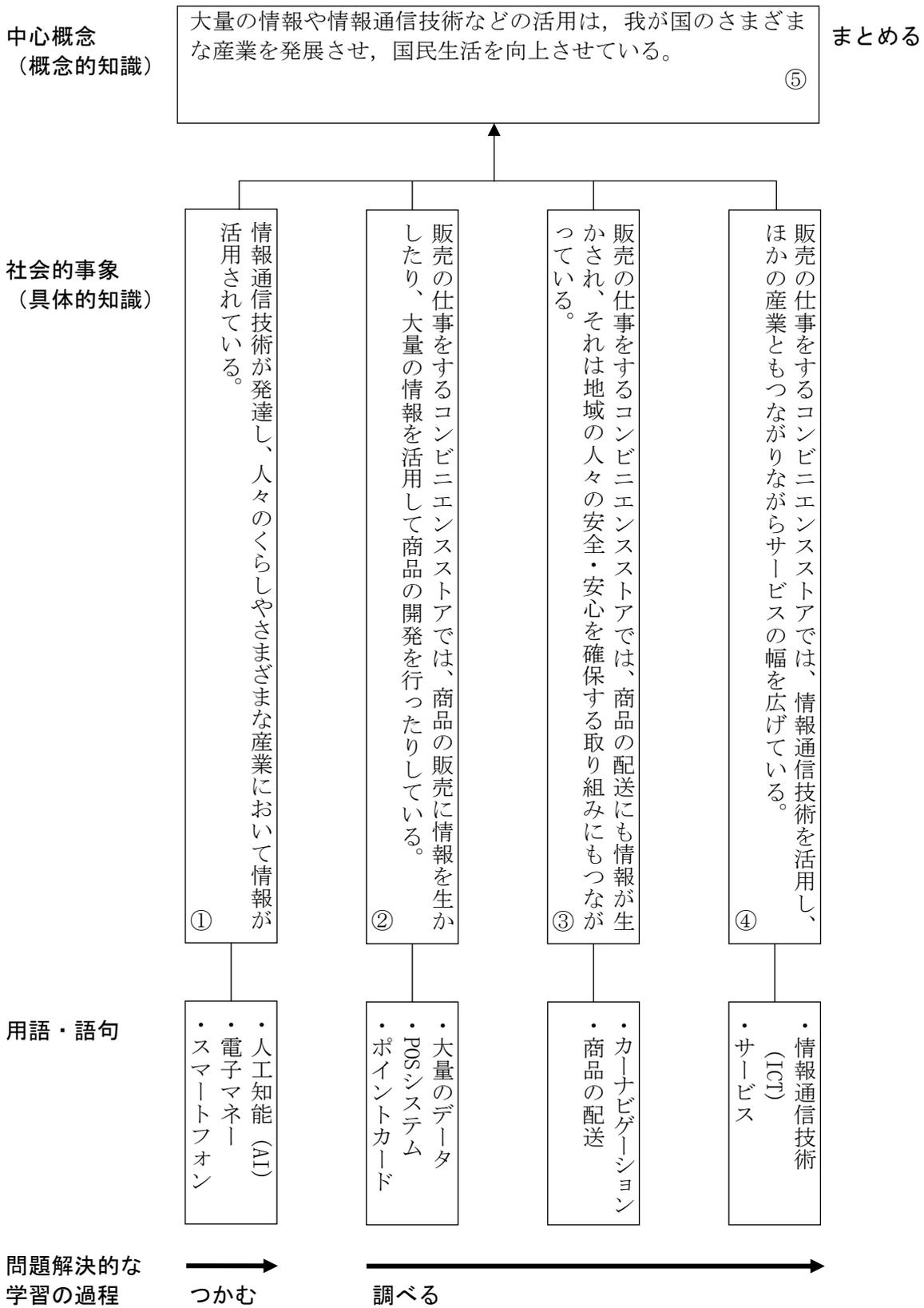
□ 知識の構造図 これからの工業生産とわたしたち



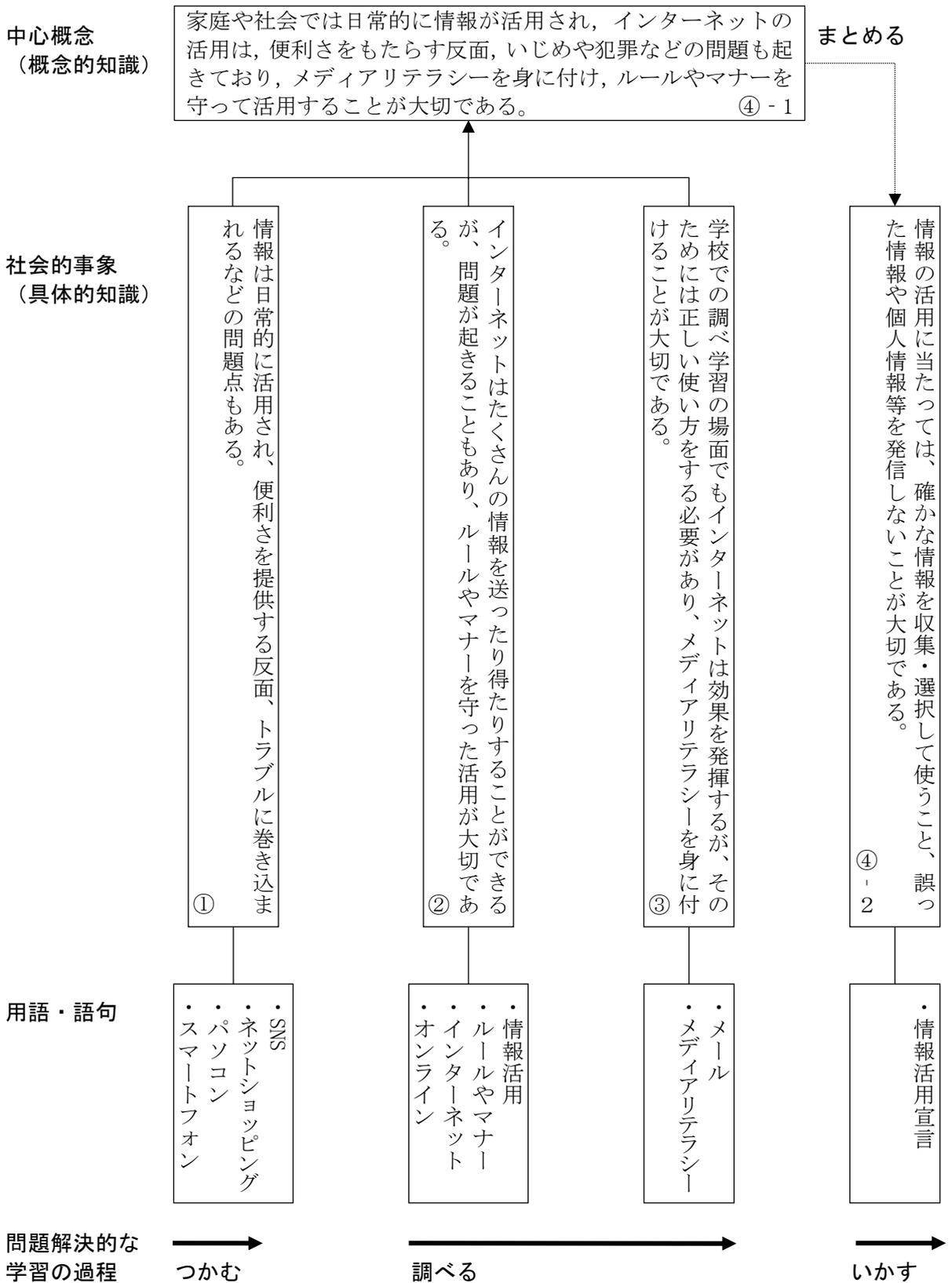
□ 知識の構造図 情報産業とわたしたちの暮らし



□ 知識の構造図 情報を生かす産業



□ 知識の構造図 情報を生かすわたしたち



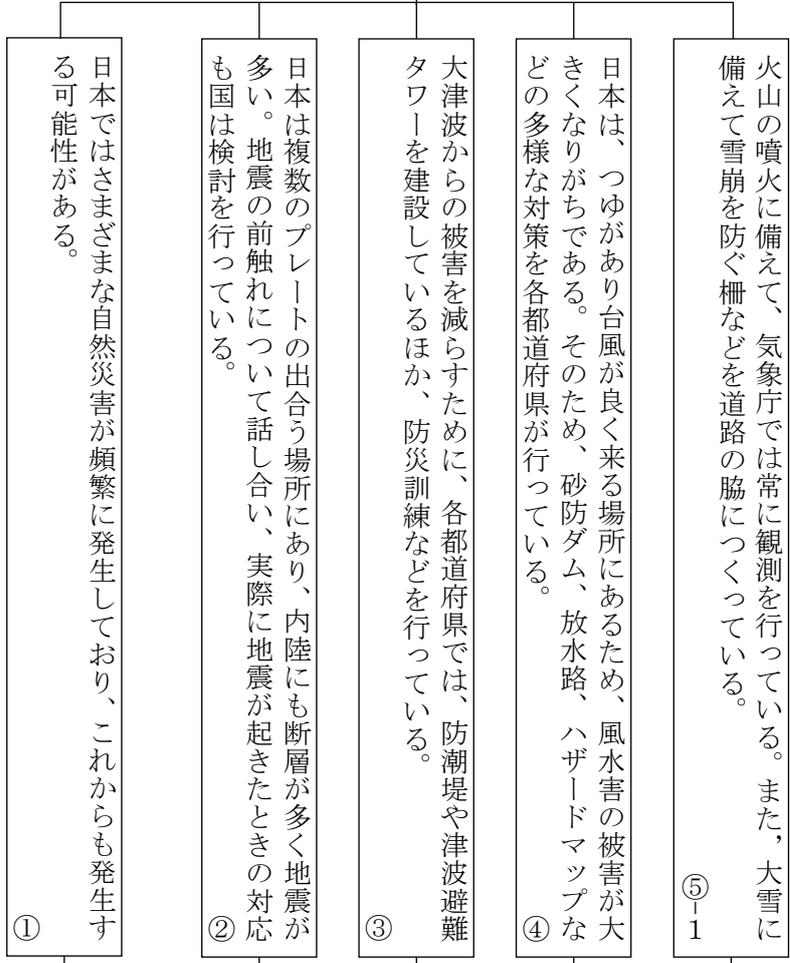
□ 知識の構造図 自然災害を防ぐ

中心概念
(概念的知識)

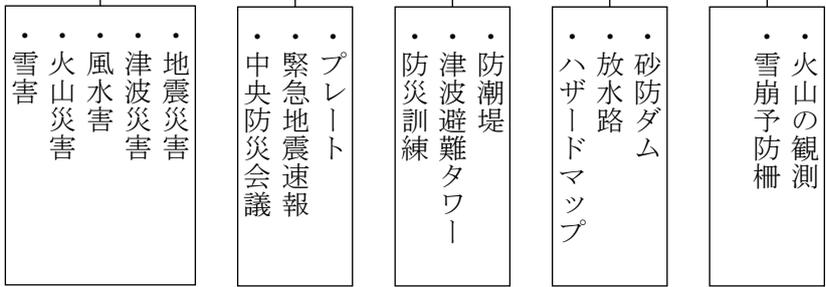
自然災害は国土の自然条件などに関連して発生している。自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などがさまざまな対策や事業を進めている。
⑤-2

まとめる

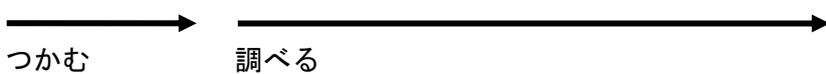
社会的事象
(具体的知識)



用語・語句



問題解決的な
学習の過程



□ 知識の構造図 環境を守るわたしたち

